

12月30日(水曜日)「祝福に満ちた神」

【新改訳 2017】

Ⅰ テモテ 6・14－16

「……神は祝福に満ちた唯一の主権者、王の王、主の主、ただひとりの死のない方であり、近づくこともできない光の中に住まれ、人間がだれひとり見たことのない、また見ることのできない方です。誉れと、とこしえの主権は神のものです。アーメン。」(15、16 節)

「神は、祝福の神です」で始まった聖書日課も、とうとう終りに近くなりました。求道者や受洗後間もない方々を念頭に置きながら、聖書全体の教えの主要な部分に触れ、神のみわざの歴史の流れも把握できるように、また大切な教えは、それなりのまとまりもわかるように学ぶことを心がけたつもりです。

しかし、聖書を静かに、祈りつつ学んでいますと、すべての節や聖句にあまりにも深い、豊富な意味と恵みがあり、366 の箇所を選ぶのにしばしば困惑したり感動したりの繰り返しでした。

そして結びの冒頭のみことばを受け、心から「祝福に満ちた

神」の御名を、畏れと賛美をもってほめたたえたいと思います。

アーメン。

～祈り～

父なる神さま。あなたは、まことに偉大にして、唯一の主権者、
王の王、主の主なる、聖なるお方であることを、御子の御名に
よって、心からほめたたえます。